

英国教育体験プログラム

UCL-Japan Youth Challenge 2020

参加校募集要項

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) という大学をご存知でしょうか。UCL は世界の大学ランキングでトップ 10 に入る大学で、日本と非常に素晴らしい歴史的なつながりを持っています。例えば、初代内閣総理大臣伊藤博文、初代外務大臣井上馨、初代文部大臣森有礼、五代友厚、夏目漱石、最近では小泉純一郎元首相が UCL へ留学しています。

我々は次の世代の世界的なリーダーを育成することを大きな目的とした、「UCL-Japan Youth Challenge」を 2015 年度から始めました。このプログラムは、日英の優秀な高校生に参加していただくサマースクールです。期間中は、世界をリードする大学である UCL の教授陣による多彩な講義やワークショップ、世界の大きな共通課題について専門の研究者等と意見を交換し、知識と経験を深めるための「Grand Challenge Workshop」、世界で活躍する日本人との対話イベント、語学研修、ロンドン市内研修など様々なイベントを行います。さらに、ケンブリッジ大学での研修や講義、英国の高等学校への訪問や交流も行います。英国を代表する有名高等学校からの生徒も多数参加します。期間中は UCL とケンブリッジ大学の宿舎に滞在し、世界をリードする大学を体感していただきます。

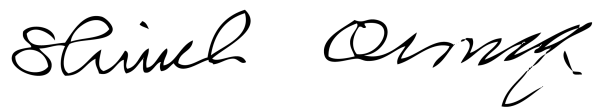
このプログラムを通じて、日本そして世界の将来を担う若い高校生が世界の問題意識に触れ、世界の最先端で研究を行う研究者等と交流し知見を深め、150 年程前に UCL へ留学した日本人のように将来グローバルに活躍する人材として育つ契機になることを期待しています。実際、毎年の参加者の約 1 割の日本の高校生が UCL、ケンブリッジ大

学、オックスフォード大学などの英国やアメリカの大学に進学しています。

2020年度のプログラムは、7月17日（金）から7月26日（日）まで英国で開催します。なお、このプログラムには奨学制度もありますので、是非ご応募ください。プログラムの詳細はこの活動のウェブサイト（www.ucl-japan-youth-challenge.com）を参考にしてください。このイベントは英国の大学で、研究や勉強をしている多くの日本人の協力のもと、日英の政府機関、団体、企業のサポートを受けて行われています。来年の夏に、皆様とエキサイティングな時間を過ごすことを楽しみにしています。

敬具

主催 UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会



Professor Shin-ichi Ohnuma 大沼 信一
UCL Institute of Ophthalmology
UCL-Japan Young Challenge実行委員会代表
UCL's Japan Ambassador

11-43 Bath Street, London EC1V 9EL United Kingdom
Tel: +44 (0)20 7608 6803
Email: s.ohnuma@ucl.ac.uk

概要：

英国教育プログラムは、今後の日本の将来を担う若い優秀な高校生が、10日間英国に滞在し、英国の高校生と共に、世界をリードする大学である UCL やケンブリッジ大学において、最先端の教育や研究を体験していただき、彼らの将来の選択肢の中に世界という視点を加えることを目的にしています。

期間中は日英の高校生が、世界が抱えている大きな問題点について討論を行う UCL Grand Challenge Workshop に参加し、その内容を一般公開のシンポジウムに参加し発表を行う機会や、世界をリードする大学の先生の講義も多数あります。また、アイスブレーキングセッション、文化交流、スポーツイベントの機会など、英国の高校生との交流も積極的に行います（下記プログラム内容参照）。

また、期間中は UCL やケンブリッジ大学の宿舎に滞在し、身をもって世界をリードする英国の大学生活を経験してもらいます。このプログラムを通して、彼らが将来国際社会のリーダーとなる契機を与えられれば幸いです。

昨年度のプログラムの詳細はウェブサイト（www.ucl-japan-youth-challenge.com）を参考にしてください。

また、経済的に恵まれない高校生のために奨学生制度を設けています。詳細につきましては実行委員会事務局にお問い合わせください。

プログラム日程：2020 年 7 月 17 日（金） — 2020 年 7 月 26 日（日）
日本到着は 2020 年 7 月 27 日（月）です。

開催場所：英国（ウェストサセックス：英国立教学院、ケンブリッジ：ケンブリッジ大学、ロンドン：UCL）

宿舎：高校生、引率者ともに UCL（ロンドン大学）、ケンブリッジ大学の学生寮に宿泊（9泊10日）

募集校数：概ね 17 校（生徒 50 名＋引率者 20 名まで）

英国の 10 校以上の高等学校から同等数の生徒が参加予定。

応募資格：次の 2 つの要件を満たす高等学校

1. 2020 年度時点の高校 1 年生及び 2 年生を推薦できること
2. 英検 2 級以上保持者又はそれと同等の英語力を持つ者を推薦できること

選考基準：基本的に各高等学校の先生方にお任せいたしますが、下記を選考基準の参考としてください。

1. 将来的に海外留学や国際的な職業に興味があること
2. 積極性、協調性、チャレンジ精神があること
3. 国際交流に興味があり、世界へ発信しようとする意欲をもちあわせていること

参加費：生徒・引率者一人あたり£1,700

参加費に含まれるもの：宿泊費、食費（自由時間中含まない）、現地交通費（自由時間中含まない）

なお、期間中の各種イベント経費等の研修費は各種支援者からの寄付により成り立っており、参加者にはご負担いたしません。

参加費に含まれないもの：上記以外全て（例：日本国内交通費、往復航空券・航空保険料・燃油サーチャージ、日本・現地空港諸税、超過手荷物料金、自由時間中の食費や交通費、任意参加アクティビティー費用、パスポートやビザ（該当する場合）の取得費用、海外旅行保険料等）

参加者への特典：

1. 奨学金制度

本プログラムへ参加し、更に UCL Foundation Course への進学者の内、成績優秀者に奨学金（Studentship）を給付する

2. UCL-Japan Youth Challenge からの推薦状発行

優秀な参加者には UCL-Japan Youth Challenge より UCL 大学入試の際、推薦状を発行する

3. メンター制度

本プログラム参加後に UCL Foundation Course や Undergraduate Course へ進学した学生には在英日本人教官による年 4 回程アドバイスを受けられるメンター制度を活用できる

応募方法：参加申し込みは個人でなく高等学校としての申し込みとなります。2020 年 1 月 31 日までに下記応募様式にてメールでお申し込みください

【応募様式】

宛先：wtage@japanatuk.com

CC：hmiyahara@japanatuk.com

s.ohnuma@ucl.ac.uk

題名：UCL-Japan Youth Challenge 2020 参加申し込み

本文：

 [高等学校]

 学校名：

 所在地：

 電話番号：

 ウェブサイト：

 [担当者]

 氏名：

 電話番号：

 メールアドレス：

参加高等学校の選考：参加高等学校の選考は様々な指標をもとに行い、全国から広く参加していただければと考えています。参加高等学校の決定は 2020 年 2 月末までに行います。

参加生徒の選考：参加生徒は新入生が入学した 2020 年 4 月以降に高等学校内で選考・決定していただきます。また、その際に高等学校での国際化等への取り組みについて A4 用紙 1 枚にまとめたものを提出してください。

参加費納入：当プログラムへの参加が決定した方は、2020 年 5 月 31 日までに参加費の納入をお願いいたします。納入方法詳細は、参加決定後にご案内申し上げます。

奨学生募集：詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。

備考：

- 基本的に各高等学校生徒 3 名（＋引率者 1 名）までとします。引率者は必須となります。但し、引率者は教員以外にも、保護者や他校の教員に依頼可能です。
- 応募書類は一切返還できません。
- プログラムの日程や内容、会場などは変更になる場合もございますので、予めご了承ください。
- キャンセルは基本的に認められません。プログラムへの参加決定後にキャンセルをされた場合、参加費用の返金は認められません。
- お申込書記載の個人情報は、UCL、日英機構、JAPAN AT UK LIMITED 間で共有されます。また、本イベント中の活動に関し、撮影・録音された学生の写真・動画・音声・著作物は、印刷物、インターネットなどあらゆる媒体においてこのプログラムの目的の範囲内で、自由に無料で使用されますが、別目的で使用することはありません

主催：UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会

共催：UCL (University College London)、国際交流基金 (Japan Foundation)、University of Cambridge, Hughes Hall (2020 年より正式な共催者となる予定)

協賛・後援：グレイトブリテン・ササカワ財団、一般財団法人日英機構、立教英国学院、一般財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所 (CLAIR)、在英日本国大使館、日本学術振興会、他多数 (2019 年の実績)

UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会事務局：JAPAN AT UK LIMITED

担当： タゲ (wtage@japanatuk.com)

宮原 (hmiyahara@japanatuk.com)

プログラム内容：

日本側、英国側高校生共通

- ウェルカムイベント
- UCL とケンブリッジ大学の教授・講師陣による特別講義多数
- UCL の教授・講師陣によるワークショップ
- Grand Challenge Workshop
- 本プログラムの主要イベントで、今世界にとって重要なテーマの一つをテーマに、日英の学生がUCLの専門家と一緒に話し合い、若者からの解決法、提言をつくり、発表をする機会を設けます。この機会を通し世界の今後についての理解を深め、将来国際社会に貢献できるような人材の育成を目指します。
- 語学研修（日本側参加者：英語、英国側参加者：日本語）
- UCL ランゲージセンターにおける講義
- 日英の高校生の文化交流
- UCL、ケンブリッジ大学キャンパスツアー
- UCL 施設訪問
- 修了式

日本人学生対象

- 日英の交流の歴史についての講義、国際化の重要性についての講義
- 英国で活躍する著名日本人との交流会
- 英国への留学・進学方法についての説明会

日本人教師対象

- 英国の先生による模擬授業
- 英国の教育制度・教育方法に関する講義

詳しい内容はこのプログラムのウェブサイト (www.ucl-japan-youth-challenge.com) を参考にしてください。

その他：

- 参加高校生には参加決定以降に予め予習・準備のための宿題が出ます。
- プログラム期間中は複数の関係者が 24 時間帯同します。